

福井市立郷土歴史博物館

令和2年度

年 報

令和2年度事業報告

I 展示

※各展の展示目録については、当館ホームページの「展示・講座」内にある「終了した特別展の展示」(<http://www.history.museum.city.fukui.fukui.jp/tenji/shuryo.html>)をご覧ください。

1 企画展示室

(1) 春季特別展「明智光秀と越前―雌伏のとき―」

内 容：織田信長の有力な家臣でありながら、本能寺の変で主君の信長を討った明智光秀は、信長に仕える前は朝倉義景のもとにいたと云われ、越前の領主になった武将には光秀に関係する人が多くいる。これらの関連資料を通して、光秀と越前の関わりについて紹介した。

会 期：令和2年3月20日(金)～5月6日(水)

計13日

※新型コロナウイルス感染防止対策のため3月28日、29日、4月4日～5月10日まで休館

会 場：企画展示室

共 催：福井新聞社

展示資料：67件

観覧者数：1,351人(令和元年度1,270人)

関連事業：■展示紹介の動画を作成し、博物館HPとyoutubeで公開した。

■講演会、バスツアー、ギャラリートークを予定していたが、全て中止した。

印刷物：■ポスター B2判

■チラシ A4判両面

■展示解説シート A4判両面

■解説図録 A4判 32頁



※令和2年12月19日(土)～令和3年2月14日(日)(計46日)に館蔵品を中心にした内容に再構成して開催した。展示資料：64件、観覧者数：2,396人

(2) 夏季特別陳列②「福井藩と城下町」

内 容：藩祖結城秀康から始まる親藩福井藩と城下町「福井」のあらましを、古文書や城下絵図、考古遺物を通じて紹介した。

会 期：令和2年7月23日(木)～8月30日(日)
計37日

会 場：企画展示室

展示資料：52件

観覧者数：3,942人

関連行事：※ギャラリートーク（展示解説）は新型コロナウイルス感染防止対策のため開催せず

印刷物：■ポスター B2判 ■チラシ A4判両面
■展示解説シート A3判両面



(3) 秋季特別展「北陸の古刀」

内 容：南北朝時代以来、越前ほか北陸の各地でいくつもの刀工集団が活躍した。「北国物(ほっこくもの)」と呼ばれた彼らの作品は、独特の地鉄の風合いとすぐれた技術で、時の権力者の愛蔵品となったものや、美術的価値の高さを認められ文化財指定を受けたものも数多い。

本展では千代鶴派、藤島派をはじめ中世の越前で活躍した刀工を中心に、近世に隆盛する新刀につながる北陸の刀工たちの足跡を紹介した。

会 期：令和2年10月10日(土)～11月23日(月祝)
計45日

会 場：企画展示室

共 催：福井新聞社

展示資料：41件

観覧者数：11,062人

関連事業：■特別企画

「お刀鑑賞講座&トーク」 於講堂 10月25日(日) 参加者：13人

講師：刀匠 川瀬貞真氏・漫画家 かまたきみこ氏

■パネル展示「伝説の刀工 千代鶴国安とは？」 於講堂

※ギャラリートーク（展示解説）は新型コロナウイルス感染防止対策のため開催せず

印刷物：■ポスター B2判 ■チラシ A4判両面
■展示解説シート A3判両面 ■展示解説シート英語版 A3判両面
■解説図録 A4判 81頁



2 平常展示 松平家史料展示室

(1) 企画展「武家のよそおい」

内 容： 男性の直垂や袴、女性の小袖や帷子、子どもの着物など、江戸時代の越前松平家で用いられた武家ならではの衣装を紹介した。

会 期： 令和2年3月20日（金）～5月17日（日） 計13日 ※コロナウィルス感染防止対策のため3月28日、29日、4月4日～5月10日まで休館

展示資料：20件

観覧者数：1,164人（令和元年度1,038人）

関連事業：■展示紹介動画 展示紹介の動画を作成し、博物館HPとyoutubeで公開した。

印刷物：■解説シートA4判両面

(2) 企画展「福井藩の幕末維新～海防～」

内 容：「雄藩」として高く評価されてきた福井藩の歴史的な背景を、当館の館蔵品から紹介するシリーズ。今回は、海からの外敵を防ぐ「海防」という政策に注目し、当時の国家的な危機に対する福井藩の関わりを紹介した。

会 期： 令和2年5月20日（水）～7月14日（火） 計55日

展示資料：22件

観覧者数：1,237人

関連事業：■展示紹介動画 展示紹介の動画を作成し、博物館HPとyoutubeで公開した。

印刷物：■解説シートA4判両面

(3) 夏季特別陳列①「東京1964こぼれ話」

内 容：2020オリンピック東京大会の開催にちなみ、昨年開催した「東京1964」展では紹介しきれなかったエピソードを紹介した。

会 期： 令和2年7月18日（土）～8月30日（日） 計43日

展示資料：27件

観覧者数：2,092人

関連事業：※ギャラリートーク（展示解説）は新型コロナウイルス感染防止対策のため開催せず

印刷物：■展示解説シートA4両面

(4) 企画展「絵をたのしむ～越前松平家の人々ゆかりの絵～」

内 容：江戸時代から昭和期にかけて、越前松平家の人々が自ら筆を執り描いた作品や、賛を記した絵画作品を紹介した。

会 期：令和2年9月3日（木）～10月6日（火） 計33日

展示資料：17件

観覧者数：1,729人

関連事業：※ギャラリートーク（展示解説）は新型コロナウイルス感染防止対策のため開催せず

印刷物：■展示解説シート A4判両面

（5）企画展「勇壮のよそおい」

内 容：福井藩主が着用した甲冑・陣羽織・火事装束など、江戸時代の武士の勇壮な姿や個性的なデザインを紹介した。

会 期：令和2年10月10日（土）～11月29日（日） 計50日

展示資料：23件

観覧者数：6,381人

関連事業：※ギャラリートーク（展示解説）は新型コロナウイルス感染防止対策のため開催せず

印刷物：■展示解説シート A4判両面

（6）企画展「福井藩の年中行事と武家の暮らし」

内 容：福井城下を中心に、福井藩内で催されていた年中行事と武士の暮らしについて、屏風や絵巻、古文書や絵図などを通して紹介した。

会 期：令和2年12月3日（木）～令和3年1月24日（日） 計44日

展示資料：29件

観覧者数：1,180人

関連事業：■展示紹介動画 展示紹介の動画を作成し、博物館HPとyoutubeで公開した。

印刷物：■展示解説シート A4判両面

（7）企画展「史料からみる福井の災害」

内 容：過去に福井で起こったさまざまな災害（地震、水害、疫病、火事、戦乱）を古文書などの史料で紹介した。

会 期：令和3年1月28日（木）～3月16日（火） 計45日

展示資料：33件

観覧者数：1,706人

関連事業：※ギャラリートーク（展示解説）は新型コロナウイルス感染防止対策のため開催せず

印刷物：■展示解説シート A4判両面

(8) 企画展「拵～KOSHIRAE～」

内 容：刀の鞘や柄など、刀を身につけるための装具一式のことを「拵」と呼ぶ。上質な拵はその時代の工芸の粋を集めたものとして極めて貴重なものといえる。

当館収蔵の拵のうち、今回は越前松平家伝来の作品を中心に、鯉の鱗や蛇革といった珍しい材料を使用した作品や、儀礼で使われた様式美の作品、持ち主のこだわりを反映した一品など、見どころある作品の数々を紹介した。

会 期：令和3年3月20日（土）～5月18日（火） 計57日

展示資料：18件

観覧者数：2,614人（令和2年度637人）

関連事業：■展示紹介動画 展示紹介の動画を作成し、youtubeで公開した。

印刷物：■展示解説シートA4判両面、展示目録A4判片面

3 平常展示 館蔵品ギャラリー

(1) 「桜さく～描かれた桜の美～」

内 容：「象牙製桜花蒔絵扇子」や「桜花群禽図」など桜を題材にした道具や絵画を紹介した。

会 期：令和2年3月20日(金)～5月6日(水) 計47日 ※新型コロナウイルス感染防止対策のため3月28日、29日、4月4日～5月10日まで休館

関連事業：■展示紹介動画 展示紹介の動画を作成し、youtubeで公開した。

展示資料：6件

観覧者数：1,085人（令和元年度1,038人）

(2) 「足元に眠る歴史一街の下の集落遺跡～」

内 容：町なかで発掘された、弥生～古墳時代の「ムラ」の遺跡を紹介した。

会 期：令和2年5月8日(金)～6月28日(日) 計49日

展示資料：9件

観覧者数：896人

(3) 「和歌短冊の世界」

内 容：春嶽ほか自筆自詠の和歌短冊を展示して、その美と個性を紹介した。

会 期：令和2年6月30日(火)～8月10日(月) 計42日

展示資料：6件

観覧者数：470人

(4) 「秋の訪れ～美術工芸品にみる秋～」

内 容：秋草や虫など秋のモチーフをデザインした美術工芸品を紹介した。

会 期：令和2年8月12日(火)～9月27日(月) 計47日

展示資料：4件

観覧者数：2,208人

(5) 「橋本左内の診断書～自筆資料の里帰り～」

内 容：当館に新しく収蔵された橋本左内自筆の診断書を中心に、医者としての左内の足跡を紹介した。

会 期：令和2年9月29日(火)～11月23日(月) 計53日

展示資料：4件

観覧者数：6,315人

(6)「袱紗 —染と織と繻のせかい—」

内 容：大事な物の上に掛けたり、包んだりして用いる袱紗（ふくさ）に施された染め・織り・刺繍を紹介した。

会 期：令和2年11月25日（水）～令和3年1月17日（日） 計43日

展示資料：8件

観覧者数：1,394人

(7)「平泉澄博士の国史研究」

内 容：勝山出身の歴史学者、平泉澄博士が残した国史研究の業績を紹介した。

会 期：令和3年1月19日（火）～3月7日（日） 計48日

展示資料：5件

観覧者数：1,592人

(8)「御所人形と武者人形」

内 容：端午の節句を迎えるのに合わせて、武者人形や御所人形を展示した。

会 期：令和3年3月9日（火）～5月5日（水） 計54日

展示資料：5件

観覧者数：2,463人（令和2年度948人）

II 教育普及

1 夏休み歴史体験教室

■ワークショップ「まが玉をつくろう！」

8月8日(火)、9日(火)、10日(火) 10:30~12:00/14:00~15:30 計6回

会場：講堂 参加者：計19人

※新型コロナウイルス感染拡大により例年より規模を縮小し、感染対策の上実施した。

2 学芸員連続講座

開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

3 三角縁神獣鏡チョコ作りワークショップ

開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

4 子ども博物館

文部科学省が2004年より3ヵ年で推進した子どもの居場所作り事業を契機として、春・夏・冬休みの期間に、博物館講堂にて「子ども博物館」を開催している。切り紙や折り紙を中心に、昔遊びや親子で楽しめる工作教室などを行っている。

(1) 夏休み・らくらく子ども博物館

(2) 冬休み・らくらく子ども博物館

(3) 春休み・らくらく子ども博物館

※新型コロナウイルスの感染拡大により今年度は開催を断念した。

5 へんしん越前屋

歴史体験スペース「へんしん越前屋」で、昔の衣装を着るへんしん体験活動を開催している。福井藩の参勤交代「大名行列」や福井城下の正月行事「馬威し」、江戸時代の鎧兜のレプリカなどをテーマに、土日祝日や企画展、子ども博物館の開催時期に合わせて実施している。

(1) 「大名行列」にへんしん！

令和2年11月5日(木)、10日(火)、令和3年2月14日(日)

参加者：12人

※新型コロナウイルス感染拡大により例年より規模を縮小し、感染対策の上実施した。

(2) 「馬威し」にへんしん！

※新型コロナウイルスの感染拡大により今年度は開催を断念した。

(3) 「よろいかぶと」にへんしん！

令和2年11月20日(金)~23日(月)、令和3年3月29日(月)、31日(水)

参加者：15人

※新型コロナウイルス感染拡大により例年より規模を縮小し、感染対策の上実施した。

6 小中学校との連携

○活用検討委員会

児童生徒の学習効果の向上を目指し、学校と郷土歴史博物館が、相互に情報や意見を交換し、協力して歴史博物館を利用した学習活動を進めるための委員会である。

※新型コロナウイルスの感染拡大のため、今年度については開催を自粛した。

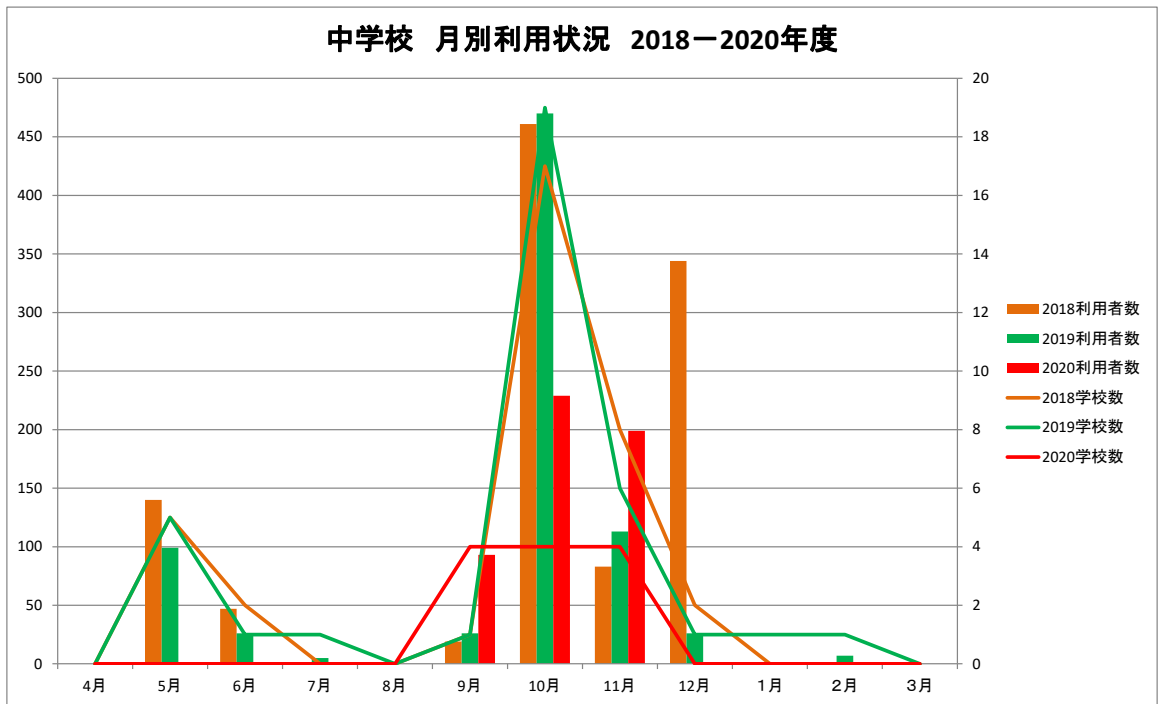
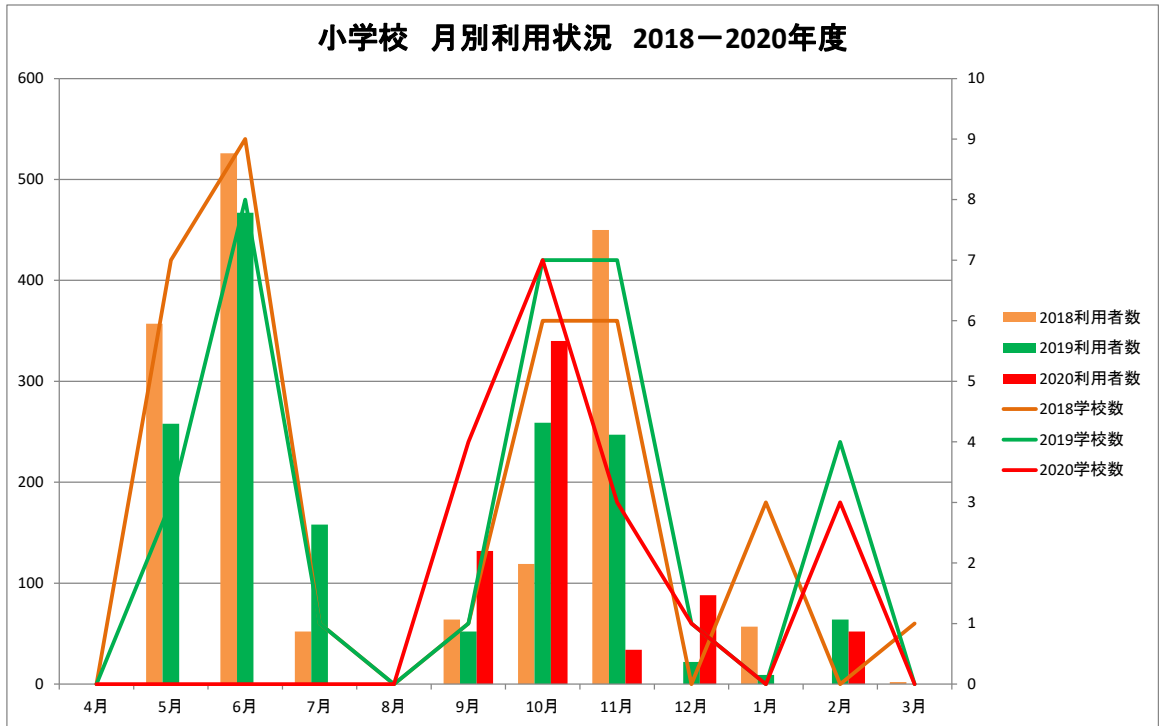
○学校利用の状況

<月別利用者数の推移>

平成30年度(2018)				令和元年度(2019)				令和2年度(2020)			
(人数:のべ利用者数)				(人数:のべ利用者数)				(人数:のべ利用者数)			
	中学生	小学生	合計		中学生	小学生	合計		中学生	小学生	合計
4月	0	0	0	4月	0	0	0	4月	0	0	0
5月	140	357	497	5月	99	258	357	5月	0	0	0
6月	47	526	573	6月	26	467	493	6月	0	0	0
7月	0	52	52	7月	5	158	163	7月	0	0	0
8月	0	0	0	8月	0	0	0	8月	0	0	0
9月	19	64	83	9月	26	52	78	9月	93	132	225
10月	461	119	580	10月	470	259	729	10月	229	340	569
11月	83	450	533	11月	113	247	360	11月	199	34	233
12月	344	0	344	12月	26	22	48	12月	0	88	88
1月	0	57	57	1月	0	9	9	1月	0	0	0
2月	0	0	0	2月	7	64	71	2月	0	52	52
3月	0	2	2	3月	0	0	0	3月	0	0	0
合計	1,094	1,627	2,721	合計	772	1,536	2,308	合計	521	646	1,167

<月別利用学校数の推移>

平成30年度(2018)				令和元年度(2019)				令和2年度(2020)			
(学校数:のべ利用数)				(学校数:のべ利用数)				(学校数:のべ利用数)			
	中学校	小学校	合計		中学校	小学校	合計		中学校	小学校	合計
4月	0	0	0	4月	0	0	0	4月	0	0	0
5月	5	7	12	5月	5	3	8	5月	0	0	0
6月	2	9	11	6月	1	8	9	6月	0	0	0
7月	0	1	1	7月	1	1	2	7月	0	0	0
8月	0	0	0	8月	0	0	0	8月	0	0	0
9月	1	1	2	9月	1	1	2	9月	4	4	8
10月	17	6	23	10月	19	7	26	10月	4	7	11
11月	8	6	14	11月	6	7	13	11月	4	3	7
12月	2	0	2	12月	1	1	2	12月	0	1	1
1月	0	3	3	1月	1	0	1	1月	0	0	0
2月	0	0	0	2月	1	4	5	2月	0	3	3
3月	0	1	1	3月	0	0	0	3月	0	0	0
合計	35	34	69	合計	36	32	68	合計	12	18	30



市内全学校数に占める博物館利用校の割合			
	利用校数	市内全校数	
市内小学校利用	15	51	29%
市内中学校利用	2	26	8%
市内特別支援学校利用 (高等部まで)	0	6	0%

7 大学との連携

○博物館実習の受け入れ

大学における博物館学芸員資格取得のための実習機関として、学生の受け入れ・指導を行っているが、令和2年度は3名の実習生を受け入れた。

➤ 受け入れ大学

上智大学、岡山大学、大谷大学

➤ 主な実習内容

歴史資料の取扱い、美術資料の取扱い、武具資料の取扱い、博物館の教育普及活動についての講義、展覧会立案実習など

8 ボランティアとの連携

平成16年に発足した博物館ボランティアグループ「とねりの会」との連携により、博物館と来館者とをより円滑につなげていく活動を行っている。また博物館ボランティアの養成講座としてミュージアムカレッジを開講している。

○博物館ボランティアグループ「とねりの会」

博物館の依頼により団体客への展示・庭園解説等を行うほか、博物館との協同事業である「子ども博物館」の企画運営、会員の研鑽や親睦を図る研修会などを行っている。

会員数：64名（令和3年5月現在）

○会員向けギャラリートーク

会員が館蔵品ギャラリーの展示案内・解説活動を行うことができるよう、担当学芸員が展示を深く解説するギャラリートークを開催した。

※新型コロナウイルスの感染拡大により今年度は開催を断念した。

○「ミュージアムカレッジ」（博物館ボランティア養成講座）

歴史を学んで得た知識や感動を多くの人に伝えたいという市民を対象に、講座や実習などを組み合わせた学習プログラムを提供している。

令和2年度ミュージアムカレッジ基礎講座の概要

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. 講座「ふくいの古墳時代」 | 講師：松村知也（当館主幹） |
| 2. 講座「奈良時代の越前と東大寺領荘園」 | 講師：白嶋祐司（当館主幹） |
| 3. 講座「福井藩と福井城」 | 講師：印牧信明（当館主幹） |
| 4. 講座「舎人門の復原」 | 講師：松村知也（当館主幹） |
| 5. 講座「松平春嶽をめぐる人々」 | 講師：角鹿尚計（当館館長） |
| 6. 講座「養浩館庭園の歴史」 | 講師：白嶋祐司（当館主幹） |
| 7. 講座「近代福井の発展と戦・震災」 | 講師：山田裕輝（当館学芸員） |
| 8. 講座「博物館の教育普及事業」 | 講師：松村知也（当館主幹） |
| 9. ワークショップ「へんしん越前屋着付け体験」 | 講師：佐々木佳美（当館主査） |
| 10. ワークショップ「博物館の解説を体験してみよう」 | 講師：松村知也（当館主幹）・とねりの会 |
| 11. ワークショップ「博物館の体験学習プログラムを体験してみよう」 | 講師：松村知也（当館主幹）・とねりの会 |

令和2年度ミュージアムカレッジ応用講座

◆「古文書講読講座」全2回 講師：印牧信明（当館主幹）

- ・「御用手紙と書状について」（2月28日）

◆「考古学講座」全2回 講師：松村知也（当館主幹）

- ・「戦国期越前の城」（12月19日）
- ・「北陸の古刀」（1月23日）

※新型コロナウイルスの感染拡大により定員を限定し感染対策の上実施した。

III 調査研究

企画展関連調査

調査先		資料名など
刀剣博物館	東京都	目利書（新刊秘伝抄） など
永青文庫	東京都	脇指 銘 信長
秋水美術館	富山県	太刀 銘 宇多国光 など
京都国立博物館	京都府	太刀 銘 藤嶋友重 など
個人宅	京都府	短刀 銘 信長
石川県立歴史博物館	石川県	刀 銘 家吉作 など
敦賀市立博物館	敦賀市	太刀 銘 一越州敦賀住盛重作（敦賀市指定文化財） など
福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	福井市	脇指 銘 越前一乗住兼則／神祇五位大祐ト部定澄 など
福井県立歴史博物館	福井市	太刀 銘 藤嶋（福井県指定文化財） など
福井県立図書館	福井市	坪川家文書 など
福井県文書館	福井市	八木家文書 など
福井市立図書館	福井市	明新館・足羽県旧蔵図書 など

福井の文化財に関する調査

調査先		資料名など
登知為神社	福井市	本殿建物 など
麻生津公民館	福井市	土地原形図
個人	福井市	岡田啓介筆「白山神社」の神号幅 など
個人	越前市	舒家鼎作品

研究成果の公開

◆福井市立郷土歴史博物館研究紀要 第23号 A4判 32頁 令和3年3月発行

資料紹介「翻刻『御国廻り御道具并新御道具帳』藤原千穂

資料紹介「翻刻 常盤廻古言あとがき及び書付」佐々木佳美

資料紹介「福井藩江戸館入町人仙波太郎助と借用証文について」印牧信明

歴史余滴「春嶽公と容堂公 池の蜷があればください」角鹿尚計

IV 資料の保存・活用

1 福井の歴史に関する資料の収集（寄贈・寄託）

【寄贈資料】

資料名	件数	寄贈者（敬称略）	
旧麻生津村眼鏡製造販売業者関係資料	5	福井市	清水義浩
旧福井藩士関係史料	1	愛知県	粕谷興博
越前国吉田郡定政村絵図 明治9年	1	坂井市	林菊治
旧福井藩士家伝来印章	2	東京都	蟹江節子

【寄託資料】

資料名	件数
由利公正（三岡八郎）和歌稿 ほか	2
高野山御尊霊様方御年回之節ニ被供御規定帳 天保十五年 ほか	95
W. E. グリフィス直筆色紙	1
刀剣（脇指 銘不詳 旧福井藩医家伝来）	1
足羽郡麻生津村土地原形図（下書図 昭和8年頃）	1
旧福井藩士家伝来資料	30

2 資料の修理

資料名	数量	内容	委託先
戯画 鳶に油揚げ 高島夢蝶筆	1幅	修繕	坂井表具店

3 資料の特別利用

当館で保管する資料を、撮影、模写、模造、熟覧もしくは写真の使用を行おうとする個人・団体に対して、教育・学術・報道・その他郷土福井の歴史と文化の普及を目的とするものに限って、無償で協力している。

令和2年度 特別利用内訳表（件数）

撮影	模写・実測	模造	熟覧	写真掲載	原版貸出	館外貸出
19	1	1	14	172	0	6

館外貸出の主な実績（展覧会への出展協力）

- ・ 福井県立歴史博物館
特別展「天下人の時代 - 信長・秀吉・家康と越前」
石造地藏菩薩立像ほか 計9点
- ・ 福井県立歴史博物館
秋季特別展「明治から平成 皇室とふくい」
毛植白馬置物 ほか 計13点
- ・ 福井県立美術館
特別展「初公開 犬追物図屏風と江戸絵画名品展」
爆竹調馬之図絵（越葵文庫）ほか 計5点
- ・ 高知県立坂本龍馬記念館
企画展「龍馬の知恵袋 福井藩」
松平春嶽筆「虎豹変革備考」ほか 計11点
- ・ 長浜市長浜城歴史博物館
企画展「姉川合戦 450周年記念 信長苦戦す！元亀争乱と湖北」
朝倉義景像（心月寺蔵） 計1点
- ・ 福井市橘曙覧記念文学館
企画展「お殿さまのたのしみは」
松平春嶽筆「小倉山霧立こめて云々」の和歌幅 ほか 計14件

V 利用状況

令和2年度入館者集計

月別	有料観覧者 (平常展示)		有料観覧者 (企画展示)		友の会優 待観覧券	ボラン ティア	中学生 以下	70歳以 上	障害者	学校 団体	減免	無料 公開	教育普 及事業	総計
	個人	団体	個人	団体										
4	16	0	10	0	2	12	2	40	3	0	5	0	55	145
5	96	0	0	0	15	7	16	61	24	0	12	30	272	533
6	294	0	0	0	33	12	41	136	37	0	6	87	563	1,209
7	352	0	267	0	54	58	89	358	89	0	35	47	1,285	2,634
8	179	0	626	0	71	123	102	334	74	4	73	84	2,035	3,705
9	678	20	0	0	28	25	39	262	53	165	39	130	1,110	2,549
10	451	0	1,344	0	96	65	144	912	231	436	202	239	4,665	8,785
11	767	0	1,039	0	50	48	221	1,031	196	287	139	536	4,153	8,467
12	378	0	0	0	20	29	22	236	19	89	32	47	698	1,570
1	229	0	0	0	19	32	25	116	4	0	14	30	372	841
2	405	0	0	0	19	43	61	221	34	52	40	149	686	1,710
3	419	0	176	0	57	107	75	412	63	0	63	106	905	2,383
合計	4,264	20	3,462	0	464	561	837	4,119	827	1,033	660	1,485	16,799	34,531

※有料観覧者数(平常展示)は、単館券、共通券、その他の割引券など

※減免等は、免除申請、マスコミ取材、招待券利用など

※無料公開は、「家庭の日」「文化の日」「ふるさとの日」「関西文化の日」「養浩館庭園ライトアップ」

※教育普及事業は、企画展開連展示、講座・講演会、ワークショップ、子ども博物館、へんしん越前屋など

友の会入会者数

区分	人数
一般	95
大・高校生	3

施設利用数（当館の主催事業を含む）

区分	件数
講堂	43
企画展示室	0

VI 組 織（令和2年度）

博物館運営協議会委員（五十音順）

- 香川正行（郷土歴史博物館ボランティアグループ「とねりの会」代表）
加藤博子（元いづみ保育園副園長）
金牧陽子（元日之出小学校長）
佐藤 圭（前福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館文献調査専門員）
杉田晃一（前福井県立大学参与）
田中仁美（子ども文庫「どらごんぶっくす」代表）
柳澤英美子（福井県文書館副館長）
渡辺喜一郎（文芸評論家）

博物館職員

- | | |
|------|-------|
| 名誉館長 | 松平宗紀 |
| 館 長 | 角鹿尚計 |
| 副館長 | 長谷川健一 |

【庶務】

- | | |
|-----|------|
| 主 事 | 大谷周子 |
|-----|------|

【学芸】

- | | |
|---------|------------|
| 係 長（主幹） | 印牧信明（文献史学） |
| 主 幹 | 白嶋祐司（文献史学） |
| 主 幹 | 松村知也（考古学） |
| 副主幹 | 藤原千穂（美術史） |
| 主 査 | 佐々木佳美（美術史） |
| 学芸員 | 山田裕輝（文献史学） |